第68回定期大会

全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内（〒100-0013）
全国税労働組合
発行人　山本　浩二
電　話（03）3581－3678
ＦＡＸ（03）3507－0886
振替口座　00140-2-68514

“税務の職場”何でも110番

zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも一一〇番」を常時設置しています（電話とＦＡＸは上記の番号までどうぞ）。

◇ 全国税ホームページ ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

新たな組織的将来展望を切りひらき
青年が未来に希望を持てる職場を築こう

全国税は８月20日から22日の３日間、東京都内で第68回定期大会を開催しました。延べ１９７名が参加し、中高年の大幅賃下げや内部事務一元化による労働強化が強まる情勢のなか、新たな組織的将来展望を示し、青年が未来に希望を持てる職場を築くことを確認しました。

大会では、大幅賃下げとなる２０１０年人事院勧告に対し、反対の立場を鮮明にして、『職員の士気を削ぐ賃下げ勧告の実施見送りを求める決議』を満場一致で採択、菅首相へ届けることを確認しました。

仕事の問題では、昨年７月に全国実施された内部事務一元化に討論が集中。管理運営部門に配属された職員の努力にも関わらず、事務手順の煩雑さや非効率の目に余る状況が交換されました。当局の効率化のなかで、労働強化がつくられ、プロパーがいなくなり、技術の伝承もできず、内部事務が崩壊していくという職場状況の認識を一致し、「元に戻すことも含めゼロベースでの見直し」要求を確認しました。

調査部門では、東京局が「ＰＤＣＡサイクル」という目標管理方式を導入し、数値目標達成の尻たたきが危惧されています。また、徴収部門でも、税額整理への転換が始まっており、その手法も、職員個人に滞納額・件数圧縮をノルマ化する動きとなってあらわれています。税務の職場にノルマ主義を持ち込むことは公正な行政執行がおろそかにされ、行政の荒廃を招くと分析、労働強化反対の取り組みに力を注ぐことを確認しました。

７月人事の処遇停滞に加えて、「単身赴任のなか、２年間で１５３日の広域調査で、１１７日がホテル住まいだった」「結婚しても一緒に住めない配転が出ている」など、権利や生活・健康犠牲の人事が行われているとの認識で一致しました。

大会では、新たな組織的将来展望を切りひらき、青年が未来に希望を持てる職場を築く２０１０年度運動方針が満場一致で採択されました。

方針案を提起する山本書記長

開会あいさつをする山口副委員長

藤平委員長あいさつ
増勢を迎えて新たな組織展望を

藤平全国税中央執行委員長

７月11日の参院選では、期待を裏切り続けた民主党に国民が厳しい審判を下した。しかし、自民党やみんなの党が議席を伸ばし、大企業優遇、アメリカ追従の大連合が危惧される。

一方で、核廃絶を求める行動を積み重ねた結果、ＮＰＴ再検討会議などで核廃絶に向けた流れをつくり出した。11月の沖縄知事選に向け、日米合意撤回と安保破棄の声を大きくする必要がある。

税務の専門家として、消費税率の引き下げや法人税率の引き上げ問題などで、悪政とのたたかいが重要だ。

12月の長官団交でついに顧問先斡旋が廃止となった。職員犠牲の内部事務一元化に反対する立場で、今期、元に戻すことも含め、ゼロベースの見直しを求める。

増勢で新たな組織展望を実現するため、青年、女性、非常勤職員を重点に、全国税が総力を挙げて仲間に迎え入れよう。

激励ありがとうございます

大会に寄せられたメッセージ

中国国税、国民春闘共闘、国公共済、総理府労連、全司法、全通信、全運輸、全港建、全医労、国会職連、共済病院労組、開建労、自治労連、全教、日高教、郵産労、特殊法人労連、通信労組、日本医労連、ＪＭＩＵ、建交労、全印総連、農協労連、民放労連、年金者組合、赤十字労組、健保病院労組、航空労組連絡会、日本学生支援労組、国金発展会、金融共闘、金融ユニオン、全損保、全国証券労組協議会、銀行の中高年問題を考える会、政府系金融労組、保団連、不公平税制をただす会、全国革新懇、全商連、農民連、全国生活と健康を守る会連合会、安保破棄、国民救援会、自由法曹団、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟、日本美術会、日中友好協会、新婦人、婦団連、㈱きかんし、中央労金、西田一雄

来賓の方々

日本共産党・大門参院議員、沖縄国公労全税支部・垣花執行委員、全税関・松藤委員長、国公労連・高木中央執行委員、全国税ＯＢ会全国協議会・難波会長、近畿ＯＢ会・山道会長。

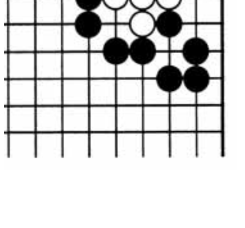
（敬称略・順不同）

詰碁

九段　石榑　郁郎

黒先

〈ヒント〉
捨て石の好手段で、白の眼形を奪います。
（７分で二、三段以上）



そろばん弾

「労働組合がなぜ平和活動をするのか」。飲み屋での会話で、このような話をよく聞いた▼確かに、労働組合は労働者の権利を守り発展させる使命を持っている。公務職場では、労働組合は行政民主化のチェック機能すら担う重要な社会的役割を発揮している▼一方で、広く国民の生活・社会を見てみると、「自己責任とバッシング社会」は、急速な勢いで進行してしまった。「格差社会」や「ワーキング・プア」は、その象徴だ▼そして労働者は全体として貧困化していく。反撃の手段は連帯であり団結だ。それは、隣人に優しい社会に行き着く。いま平和運動は世界をつなぐ良心。この時代、生命の尊厳と心身の健康を守る大事な要となっている。

「顔を洗って出直せ」一元化
「若手育成の時間がない」統括官

内部事務一元化

▼**大嶋代議員（近畿）** 当局が責任を放棄し、職員ばかりに責任を押し付けている。「ゼロベースで見直せ」は要求のひとつ。分かりやすくいえば「顔を洗って出直せ」ということ。

もうひとつは、困っている人を直ちに助けるため「ステップ3はやめろ」という要求でどうか。

▼**田中代議員（近畿）** 職場で一元化の話題があった。

法人出身者は「一年間に極端な事務の繁閑はなく、一元化には馴染まない」。資産は「同様に資産だって馴染まない」。個人は「確申期は個人全体で取り組むから馴染まない」。管理は「債権管理は他の内部と性格が違い馴染まない」。

結局、心ある精通者は、一元化に馴染む事務はない、と言っている。

統括官の事務軽減を

▼**田端中執（近畿）** 統括官2年目だが、特官の頃と比べて3倍位の仕事がある。旅費・超勤の入力、期限前納付指導、e-Tax勧奨、未納整理、なんやかんやの打合せ、申告書の作成相談、受払いの判子押し、事案選定・復命受け、準備調査や起案の決済など。

若手の育成ができるような状態ではなく、部門職員の悩みを聞く余裕もない。しかも、給与カットで言葉が出てこない。

近畿では、「6級ポスト会」をつくって、初めて局と交渉をした。職場ニュース『かわら版』も5号発行した。

健康と生活を破壊する配転

▼**板東代議員（北海道）** 精神的な病状に悩む職員の単身赴任や、家族に難病を抱える職員の単身赴任などがある。

旭川から札幌へ電車で通勤する職員が増えてきた。特急で1時間20分だが、家から駅などを含めれば2時間を超す。

▼**菅原オブ（東京）** 結婚した職員の局間配転が、3年前から、実現せずに別居状態を何年も強いるケースが出ている。今年は、局内で結婚した職員が放置されたケースも2件分かっている。

生活無視の配転も「ここまで来たか」と捉えている。

官製ワーキングプアをなくそう

▼**北原オブ（東京）** 四谷署の非常勤職員に2ヵ月連続の雇い止め通告をした当局とガチンコのたたかいをしてきた。分会や支部、地連だけではなく、国公一般をはじめ、地域の労働者が一緒になってたたかい、継続雇用を勝ち取った。

たたかいのなかで2名の非常勤職員が全国税に加入した。

▼**高橋代議員（関信）** 行㈡職員も、2級止まりで退職に追い込まれる用務員さんがいる。身近な寮の管理人さんは、職がないときに住み込みの募集に飛びついたが、土日もなく、散髪代も節約する低い労働条件で働かされている。「縁の下の力持ち」の方々の給与・労働条件を上げたい。

▼**高橋中執（東京）** 板橋署の電話交換手をしている派遣労働者が、派遣元の㈱日経スタッフから一方的な配転を迫られ、連帯労働組合に加入し、時限ストライキを打った。全国税としては当局に対して直接雇用を求めている。

雇い止め阻止のたたかいの中、加入
「がんばります」に拍手

大会会場に駆けつけた秋元さん（四谷分会）

この1年間で、新たに全国税組合員として6名が活動をしています。

大会では、藤平委員長から、新加入組合員用のグッズとして、『国公労働者権利ハンドブック・CDロム』、『JoinUs!』（いずれも国公労連発行）、全国税の腕章が手渡されました。

大会に参加した非常勤職員の秋元さん（四谷分会）は、2ヵ月連続の不当な雇い止め通告とのたたかいで、継続雇用を勝ち取った当事者です。

「がんばります」という短い言葉の決意に、全国から集まった代議員らは励まされ、会場いっぱいの拍手が送られました。

全国税・沖縄国公労全税支部協議会 第27回定期大会
共同強め、要求前進を

全国税・沖縄国公労全税支部協議会は8月20日、都内で第27回定期大会を開催しました。

大会冒頭、沖縄国公労全税支部・垣花執行委員が「沖縄は基地の県内移転反対で大きな集会があった。政府の裏切りのなかで、11月には沖縄知事選があるが、民主党が『第三の候補』の擁立を準備しており、他方で『県内移転反対』の主張を保守側もする動きもあり、選挙での争点が曖昧になるおそれもある。労働組合として、国民・労働者の立場に立つ首長を求めていく」とあいさつがあり、「普天間基地無条件撤去、辺野古新基地建設に反対する決議」を採択し、菅首相へ送付することを確認しました。

大会では、加盟するナショナルセンターの違いを超え、全国税と沖縄国公労全税支部の共同を強め、とりわけ絶対的差別といえる沖縄格差の解消をはじめとした要求実現めざすことが確認されました。

全税支部・垣花執行委員

新たな個人加盟の産業別組合をめざす
圧倒的な賛成多数で可決

大会では、第2号議案として「新たな個人加盟の産業別組合について」が提案されました。これは全国税を個人加盟の産業別組合へ組織的に発展させ、非常勤職員をはじめ、派遣・請負労働者などの労働条件改善の取組みを強化するため遅くとも第70回定期大会までに国公一般への二重加盟を目指すというものです。

提案で示された①「たたかう労働組合」を職場に残し、国税労働運動の継承と発展をめざす、②国税職場の未組織労働者の組織化を進める、③地域の未組織公務職場・労働者の組織化を進め、全ての労働者と統一してたたかう、の3点の意義の理解が進む一方で、「なぜ、今必要か」「組合員の負担が増すのではないか」「地方では全国税単体と変わらないのではないか」などの質問・意見が出されました。

第2号議案は、賛成22、反対2で採択されました。

新役員紹介

【中央執行委員長】
藤平 和良（東京中・再）

【副中央執行委員長】
阿部 富治（埼玉・再）
増山 満樹（東京中・再）
山口潤一郎（東京南・再）
山根 敏典（北大阪・新）

【書記長】
山本 浩二（東京中・再）

【書記次長・本部専従】
田山 文武（東京西・再）

【中央執行委員】
布施 孝（道北・再）
佐藤 勉（岩手・再）
大野 亙（埼玉・再）
真貝 正治（埼玉・再）
中島 計衛（群馬・新）
高橋 誠（東京中・再）
小林 寛昭（三多摩・新）
一森 進治（東京中・再）
八代 司（東京中・再）
豊田 啓子（神奈川・再）
朴木 昭一（東京東・再）
山道 外誠（東京南・再）
池野谷正美（愛知・新）
澤田 孝司（富山・再）
松本 純治（東大阪・再）
前川 幸徳（愛媛・再）
岡 一幸（福岡・再）

【会計監査委員】
北村 満男（埼玉・再）
中原 賢二（東京西・再）

【統制委員会議長】
吉岡 正範（千葉・新）

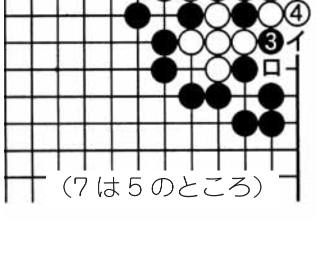
退任された役員

【副執行委員長】
田端 義機（東大阪支部）

【書記次長】
井ノ上繁利（東京中支部）

【中央執行委員】
細川 潔（愛知支部）
岡澤 利昭（千葉支部）

詰碁



（7は5のところ）

〈解答〉黒1から3、5と打つのが好手段。白6に黒7で白死です。黒1で3は白イ以下コウ。白2で5なら黒3。また白2でロなら黒5で白死です。